

研究テーマ「平和・人権教育と国際連帯の広がりをめざして」

I 研究の内容

1 研究の方法

- (1) 部員各自の実践の報告
- (2) 情報交換、情報提供による学習、臨地研修
- (3) 授業提案による研究（統一授業研）

2 研究経過

5月 8日	研究組織，研究テーマ，研究内容，授業者決定
5月20日	情報交換，研究計画決定
6月 3日	実践報告，授業案検討
8月 3日	授業案検討 臨地研修「山梨平和ミュージアム」（甲府市） 講義及び情報交換 甲府地方法務局人権擁護課 川口係長
8月28日	研究授業
9月30日	研教研リポート検討，実践報告
11月25日	実践報告，県教研環流報告
1月13日	実践報告，授業案検討
2月 3日	研究授業
2月10日	研究のまとめ

II 成果と課題

1 成果

【研究授業に関して】

- ・入門期の平和教育の在り方として、絵本を題材にし子どもたちに身近な内容から平和教育を考えさせることが適切であることが確認できた。また、全県の先生方からも、低学年の平和教育の在り方として、高い評価をいただいた。
- ・昨年度からの継続された授業を通して、難しい資料からでも子どもたちがよく考え、自分の立場に置き換えたり、自分を取り組んでみたいことを考えたりし、人権意識を高めることができた。

【研究内容・組織に関して】

- ・部員全員がそれぞれの立場、教科で実践を持ち寄り、様々な方向から平和や偏見・差別などについて深められた。
- ・非常に少ない人数の中ではあったが、中学校の先生が入ったことで小中の連携がで

き、小学校・中学校それぞれの実践を聞くことができ、お互いの授業実践に参考になった。

【臨地研修に関して】

- ・ 平和に関する話が聞け、資料が見られたことが有意義であった。また、法務局での人権についての話や実際の学校現場での話など具体的に事案が聞けたことも今後の実践に参考になった。

2 課題

- ・ 平和・人権・国際連帯に対して、なお一層、我々は自らの力で、知識・理解を深めていかなければならない。
- ・ 平和・人権教育、国際連帯に関わる他県の研究授業があれば見てみたい。または、それらに関する県外研修に行ってみたい。なかなか難しいですね。
- ・ 非常に少ない人数で、所属部会員全員が意欲的に参加している反面、研究の広がりや個人の負担を考えると、課題が残る面がある。部会員の数が増えることを期待したい。

Ⅲ 成果物

1 指導案

- ・ 1年学級活動指導案「人権教育から進める平和教育」 保坂千恵子（井尻小）
◇ねらい：読み聞かせを通して、周囲の人を理解しようとする気持ちを持たせる。
- ・ 6年道徳指導案「人権について考えてみよう」 田邊博幸（大和小）
◇ねらい：だれに対しても差別する心や偏見を持つことなく、よりよい社会（学級・学校・国際理解の発展・充実）に努めようとする心情や態度を育てる。

2 実践報告資料

- ・ 平和教育実践「おひさまとおつきさまのけんか」 山宮 由紀（日下部小）
- ・ 平和教育実践「命と平和を考える実践」 三森 公仁（塩山南小）
- ・ 人権教育実践「人権問題を考える実践」 永関 幸玄（山梨北中）
- ・ 平和教育実践「平和に関する実践報告」 小椋 規雄（塩山南小）

3 提供資料

- ・ 平和教育資料「戦後70年とアジア諸国」
- ・ 国際連帯資料「異文化共生・多文化理解とは何か」
『ナショナリズムの克服』より
- ・ 人権教育資料「人権について」 高添 勉（大藤小）

（部長 三森公仁）